学校番号	123

平成３１年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ１　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱（歌詞や曲想の把握と表現の工夫）、器楽（基本的な奏法の理解）、創作（リズムの組み合わせによる表現活動）、鑑賞（音楽の様々な表現要素によって描かれるイメージを感じ取る）の４つの分野を年間通して学習します。実際に取組み、考えたことを試してみることで豊かな感性を磨いてください。そして、音楽への興味・関心をきっかけとして、個性豊かな音楽の能力を高めてください。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心･意欲･態度	b: 音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に取組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、それぞれについて表現意図をもっている。	創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	曲想を感じ取って歌おう	【歌唱】 校歌	○		○		a:歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、主体的にイメージを持って取組もうとする。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【歌唱】 少年時代	○	○				
	楽器の奏法を身に付けよう	【器楽】 第三の男のテーマ	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、アンサンブルをする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:和音やリズムの特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。 c:アンサンブルをするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	オノマトペでリズムを作ろう	【創作】 オノマトペでリズムを作ろう		○			b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽の要素とイメージを繋げよう	【鑑賞】 組曲「動物の謝肉祭」	○			○	a:楽曲で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽に対する理解を深め、作品のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	詞のメッセージを大切にフレーズを感じて歌おう	【歌唱】 ふるさと	○		○		a:歌詞のメッセージや情景、心情と楽曲の背景との関わりに関心を持ち、主体的にイメージを持って取組もうとする。 b:音楽を形作っている要素やフレーズを知覚し、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるために必要な発声、呼吸法などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【歌唱】 翼をください	○	○				
	三線の奏法を身に付け、音色の特徴を生かして表現を工夫しよう	【器楽】 安波節 安里屋ユンタ	○	○	○		a:三線の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取組もうとしている。 b:音色やリズムの特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:三線の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターで弾き語りに挑戦してみよう	【器楽】 デイ・ドリーム・ビリーバー	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。 c:弾き語りをするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2 学 期	旋律の特徴と曲の変化を聞き取ろう	【鑑賞】 バレエ音楽「ボレロ」	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、作品のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
3 学 期	日本語の語感を生かし、独唱にふさわしい表現をしよう	【歌唱】 むこうむこう	○		○		a、曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景と関わりに関心を持ち、主体的にイメージを持って取組もうとする。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音階を選んで旋律をつくろう	【創作】 都節音階、律音階、民謡音階、沖縄音階から音階を選んで旋律をつくる	○	○	○		a:我が国や郷土の音階の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取組もうとしている。 b: 我が国や郷土の音階の特徴を知覚し、その雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学 期	さまざまな日本の伝統音楽に触れ、そのよさや美しさを味わおう	【鑑賞】 箏曲「みだれ」 尺八曲「鹿の遠音」	○			○	a:我が国の伝統音楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、我が国の伝統音楽の特徴を理解して、それらの価値に対する理解を深め、作品のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。